

# 岩歯連盟



発行：岩手県歯科医師連盟 〒020-0045盛岡市盛岡駅西通2丁目5番25号

発行日：令和6年4月15日



『上坊牧野の一本桜』 撮影：盛岡支部 宮野 敦志

## 令和6年岩手県医師会・ 岩手県歯科医師会新年交賀会

副理事長 藤澤 毅

令和6年1月13日(土)午後4時よりホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、岩手県医師会、岩手県歯科医師会共催の新年交賀会が4年振りに開催された。達増拓也岩手県知事をはじめ、各界より206名の参加により開催された。

初めに主催の岩手県医師会・本間博会長より「1月1日の能登半島地震の発災により甚大な被害を確認され、岩手県医師会では関係機関と連携して被災地域の復旧と復興に向け支援に努めている。また、

岩手県における医療関係団体は歯科医師会をはじめ相互の連携は非常に良好であり、この連携を活かして県民の健康・安全・安心に寄与できるように関係各位の一層のご支援をお願い申し上げます。」との挨拶があった。

次に岩手県歯科医師会・佐藤保会長より「2025年に国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢化時代を迎え、2040年にはさらなる高齢化の急増と現役世代の急減が推測される。また地域歯科医療の確保の観点から人材の確保や継承問題等を重要な問題としてとらえている。歯科医師会では2040年の社会に向け、歯科医療が健康寿命の延伸に向けた疾病予防・重症化予防に貢献することを示し、今後の県の計画や地域の実情に合わせた取り組みを推進してい

る」との挨拶があった。

来賓を代表して達増拓也岩手県知事より「岩手県は東日本大震災津波の発災以降、今回被災された自治体を含め全国の自治体から多くの支援を頂いた。被災地にはこれまで岩手DMATや岩手医科大学、盛岡赤十字病院から医療従事者の方々を派遣しており、対応している皆様には御礼を申し上げる。また、令和6年は新たな保健医療計画のスタートの年である。計画の推進のため医師不足・偏在解消をはじめ保健医療に係る取り組みに一層のご指導とご支援を宜しくお願いしたい」と挨拶があった。

その後、来賓の方々により鏡開きが行われ、岩手医科大学の小川彰理事長から「今年が良い年になるよう皆様一人一人が大いに努力をして、新しい年が本当に良い年になることを期待している」とのご発

声で乾杯があり、祝宴がはじまり交賀会は盛り上がりをみせた。

盛会の中、岩手県医師会・小泉嘉明副会長による三本締めで祝宴はお開きとなった。



## 福井誠司 岩手県議会議員 県政報告会

副理事長 藤澤 毅

令和6年2月5日(月)6時30分よりメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて県議会議員、福井誠司議員の県政報告会が開催され、本県出身の国会議員、市会議員など300名を超える参加があった。本連盟からは、松館邦彦理事長、福士宏也常任理事が

参加、盛岡支部から佐藤寿久支部長、村上克利副支部長、熊谷哲也、藤澤毅が参加した。他にも本連盟より中村ますみ先生、小原賢一先生が後援会から参加されていた。福井議員からは県政報告の中で、今回の選挙公約の柱である、歯科健診制度の確立について高齢化社会に向け、県民の健康の維持、増進、医療費の削減のために力を入れていきたい旨の話があった。その後、懇親の場において歯科健診事業について意見交換する機会があり、有意義な会であった。

## 日本歯科医師連盟 第6回政治セミナー

常任理事 大久保 卓也  
常任理事 鈴木 里奈

令和6年2月9日(金)、ベルサール飯田橋駅前(東京都)において「日本歯科医師連盟 第6回政治セミナー」が開催された。全県より96名が出席、本県歯連盟より大久保卓也常任理事と鈴木里奈常任理事、松館邦彦日本歯科医師連盟広報委員が参加した。例年本セミナー後には国会議員の先生方をお招きして懇談会が催されるが先般発災した令和6年能登半島地震を受けセミナーのみの開催となった。

理事長の浦田先生司会のもと、始めに太田日歯連盟会長が静養のため欠席と報告があり、来賓の高橋英登日歯会長が「令和6年度診療報酬改定において、財務省がマイナス改定を提示していた中で歯科が0.57%のプラス改定となったのは、日歯連盟の活動と組織代表の山田・比嘉両参議院議員のお力添えのお陰である。」と挨拶された。続いて、主催者を代表して村上副会長の挨拶と本セミナーの趣旨説明が行われた。

引き続き、講演第1部「混沌とする自民党の派閥崩壊－岸田政権の行方」と題して政治ジャーナリスト白鷗大学名誉教授後藤謙次氏をご講演された。講演では「総理のクーデター」の裏舞台、重荷になる「中間取りまとめ」、一変した「ポスト岸田」の顔ぶ

れ、手詰まり状態が続く野党勢力、と派閥の離合集散の歴史、これからのキーパーソンとなる政治家、総裁選は3・6・9月が注目、アメリカ大統領選結果による外交方針などご講演いただいた。

講演第2部前半では、山田宏参議院議員と比嘉奈津美参議院議員が組織代表として活動報告を行った。山田議員からは、始めに所属する安倍派清和政策研究会の政治資金問題についてお詫びがあった。続いて、診療報酬改定では0.88%のプラス改定と最終的に岸田総理が政治判断されたと述べられた。また国民皆歯科健診実施のスケジュールとして、今後5年程度モデル事業を行い、本実施に向けて検査方法を厚労省で検討していると述べられた。さらに、歯科衛生士の人材不足に対して歯科助手が歯科衛生士の資格試験を受けられないか、部会で検討が始められているとのことであった。最後にマウスガードについて、学童については保険適応にするとの拡大解釈が中医協で認められたと述べられた。

続いて、比嘉奈津美先生は次期の組織代表に選んでいただいたことへの感謝と、引き続きの応援を賜りたいと述べられた。今般、令和6年度診療報酬改訂は0.88%のプラス改定となったが小さな数字ではあるがマイナス改定と言われていたところからの結果であり、非常がんばった結果であることをご理解いただきたい。昨今どこでも歯科衛生士の不足が訴えられているが、厚労省と勉強会を行い、歯科衛生士復職支援の予算を動かしてもらうことができた。現在こども家庭庁と進めているのが早産や低体重児出産と妊婦の口腔ケアとの関係から、妊婦の歯周病検査等、国民皆歯科健診に先んじて進めること

を検討しているとご報告があった。

講演第2部後半では衆議院議員自民党選挙対策委員長の小淵優子先生が登壇された。日頃より自民党をご支援いただいている皆様には昨今起きていている問題について、ご迷惑とご心配をお掛けしていると謝罪があった。歯と口腔の健康がいかに大事なもののか自分自身重々承知している、全国民に歯と口腔のケアを行うことが健康長寿につながることであり、そして歯科医療を継続することが大事であることを政治の場で訴えてまいりたい、引き続きのご指導ご支援を賜りますようお願いいたしますと述べられた。

講演第3部では参議院議員の上月良祐先生が「指導・監査と金パラ問題への対応について」との演題で、集团的個別指導の対象は各都道府県の平均ではなく、全国平均の1.2倍超のものに限定すべきとのお考えが述べられた。続けて金パラの価格高騰について、金パラの素材価格は本改定と随時改定が行われているが、本改定で適正な告示価格が設定されなければならない、毎年実施される特定保険医療材料価格調査結果に基づくものであるため対象になった医療機関においては必ず回答するようにお願いがあった。

講演第4部は参議院議員の福岡資麿先生が、人口が減っている中で社会保障制度も変えていかなければならない状況がある、現場の声を国会の場に反映するために職域代表の議員を増やすことが重要であると述べられ、来夏の参議院選挙では比嘉先生の再選のためにご支援いただきたいと述べられ講演を締めくくられた。

## シティデンタル ミーティング(2区)

常任理事 福士 宏也

令和6年3月10日(日)に岩手県歯科医師会館において、岩手県衆議院選挙第2選挙区のシティデンタルミーティングが行われました。これは、日本歯科医師連盟主催のよる会員拡大・組織力強化、日本歯科医師連盟顧問の国政報告ならびに役員による「政治活動の重要性」に普及・啓蒙、デンタルファミリー

の紐帯強化を目的として開催されたもので、岩手県衆議院選挙第2区支部役員を対象としたものです。

松館邦彦岩手県歯科医師連盟理事長の司会により、はじめに佐藤保岩手県歯科医師連盟会長から開催地挨拶がありました。次に村岡宜明日本歯科医師連盟副会長より主催者挨拶・報告があり、内容は、「政治の力で歯科の課題に結果を出す」ために、1.「診療報酬改定」への対応 2.日本歯科医師会開催の同時改定対策本部対応 3.日本歯科医師会・日本歯科医師連盟合同会議 4.政策推進部 5.診療報酬・医科歯科格差の是正 6.税制 7.新型コロナウイルス

感染症に関わる歯科診療所への支援対策 8. 物価高騰、人件費対応について 9. 金パラ問題 10. 指導・監査 11. 政治家との連携 12. 政府への対応 13. 将来の歯科医療ニーズを見据えた活動 14. 政治セミナー開催 15. 組織力強化 16. 骨太の方針 17. 認知症保険の項目に対して執行部の立場から詳しく説明されました。

次に、日本歯科医師連盟顧問比嘉奈津美参議院議員より「歯科界の未来のために」という演題で講演がありました。

令和6年度予算案から、歯科保健医療施作の概要を国会議員の立場から簡易に参加者に説明がありました。特に歯科衛生士、歯科技工士に対しての人材確保については骨太の方針にも示されている重点項目とのことでした。

他には歯科医師国家試験の現状についてもコメントがあり、資格試験から選抜試験になっている現状の指摘がありました。さらに、次期選挙についても

述べられ、頑張って皆様の付託に応えたいとの説明があり講演を終えられました。

最後に参加者を含めたディスカッションが岩手県歯科医師連盟大黒英貴副会長の座長の下行われました。

テーマ1として岩手県歯科医師連盟八重樫祐成釜石支部支部長から「歯科医療従事者の人材育成」として地元の釜石市の実情を踏まえ歯科衛生士の人材不足と地元の行政の対応について発言があり、比嘉奈津美参議院議員に熱く理解を求めました。テーマ2として岩手県歯科医師連盟佐藤保会長より岩手県立中部病院の産婦人科の先生方による「妊産婦の口腔ケアが早産率にもたらす影響」の学会の発表の例を示し、妊産婦の歯科口腔衛生指導の重要性を説明し理解を求める発言がありました。

以上のように本会は成功裡のうちに閉幕となりました。



## 令和5年度歯科保健医療問題 議員懇談会

副理事長 佐藤 紀世彦

令和5年度歯科保健医療問題議員懇談会が令和6年3月12日(火)午後7時45分よりホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて松館邦彦理事長司会進行のもと行われた。開会の辞を根本昌幸副会長よりいただき、佐藤保会長、工藤大輔岩手県議会議長より開会の挨拶をいただいた。続いて出席者紹介が行われた後、岡田治郎岩手県歯科医師会常務理事より令和5年度県当局への要望事項について(岩手県

保健福祉部との協議会、岩手県教育委員会との懇談会)、松館邦彦理事長より岩手県歯科医師連盟広報活動についての報告があった。次に、意見交換に移り歯科保健医療に関する要望事項として、大黒英貴副会長、岡田治郎岩手県歯科医師会常務理事、鈴木卓哉岩手県歯科医師会常務理事より障がい(児)者の歯科医療提供体制(歯科医療提供体制構築推進事業)の充実について、岩手県口腔の健康づくり推進条例の検討について、学齢期におけるフッ化物応用の普及について、妊産婦歯科健診及び40歳未満における歯科健診の充実について、岩手災害歯科保健医療協議会の設置とJDAT岩手の支援活動について、歯科医療従事者の人材育成について、学校安全教育にお

ける外傷予防のためのマウスガードの推進についての資料説明があった。

これに対し、次のような質疑応答がおこなわれた。



**Q：福井せいじ県議会議員**

フッ化物の安全性について、国民皆歯科検診にかかる費用について

**A：佐藤保会長**

う蝕予防の有効性、安全性及び高い費用便益率などの医療経済的な観点から世界保健機関（WHO）をはじめ様々な関係機関によりフッ化物応用が推奨されており、成人期における歯科健診を受けるメリットデメリットの話をしていただきながら進めていき、費用については健診の在り方検討会で簡便な方法、安価な方法を検討しながら県議会の先生方にもご理解いただきたい。

**Q：神崎浩之県議会議員**

成人歯科健診について学童期は注目されるがその後は自由になっており歯科健診を受ける機会がないので自己負担があってもいいと思う、国民への働きかけきっかけがあればいいと思う。例えば歯科健診を有料で医院を受診しましょうというような形でもいいので是非前進をさせていただきたいと思う。ほかの自治体で成人歯科健診を行なっているところがあれば教えていただきたい。要望にも条例の改正という方向にも盛り込んだほうがいいのかお聞きしたい。

**A：佐藤保会長**

障がい者の方たちが支援学校を卒業してしまうと健診を受けているかというとなかなか費用が出せないという話を聞くのである程度の公助が必要

ではないかと思う。母子手帳は市町村ごとに特定検診保健指導を行なう場合市町村でどう考えるかということになるか県単位でどうなるのかということとはもう少し勉強させていただきたい。

**Q：吉田敬子岩手県議会議員**

妊産婦歯科健診について33市町村で実施していただきたいとのことですが、妊産婦がなかなか受診できない環境になっている。資料の九戸村でしか子供の一歳半、三歳児健診の際に母親の歯科健診をやれていない、子供の歯科健診の際母親も健診を行う場合、歯科の課題と提言についてのご助言を教えていただきたい。

**A：佐藤保会長**

病院の産婦人科の医師による歯科健診の勧告で受診率が数%上がったたり妊娠性歯肉炎の治療をすることで妊婦の切迫早産の緊急搬送されるケースが減ったというお話をしていただいたことが報告されており医科歯科連携が重要であると考えている。

**Q：佐々木朋和岩手県議会議員**

フッ化物洗口についてお聞きしたい。地元の歯科医師会様からもお話をいただいています。学校歯科健診ではむし歯は少なくなっているが非常にひどい状況になっているお子さんもいるという話をうかがっている。本議会の場でもむし歯を検査で発見をしてもなかなか歯科受診できない方もいると聞いている。学校での歯科健診の感触や感想をお聞きしたい。また、歯科医師会様は保健福祉部、教育委員会とも懇談されているが今後の進め方のお考えをお示しいただきたい。

**A：佐藤保会長**

学校現場では学校歯科医が小学校中学校通して9年間同じ児童を診ているので保護者に学校から受診勧告をしているのが現場の現状です。学校の健康づくりは教育委員会が取り組み、県の保健福祉行政と市町村の教育委員会は財政上非常に厳しいためいかに効果的に進めれるのが課題であると思います。

その他、菅原亮太岩手県議会議員より妊産婦歯科健診について質問があり、はぎの幸弘岩手県議会議員よりコデンタルスタッフの人材育成について、マウスガードの岩手の実情について質問がありそれぞれ佐藤保会長、鈴木卓哉岩手県歯科医師会常務理事より回答があり意見交換が終了した。

閉会の辞を倉田英生岩手県歯科医師連盟副会長よりいただき懇談会を終了し、その後の懇親会でも活発な意見交換が行われて会を終了した。



## 岩手県歯科医師連盟 第104回評議員会

常任理事 鈴木 里奈

令和6年3月23日(土)午後4時30分より岩手県歯科医師会館5階「8020大ホール」において標記評議員会が評議員定数25名、役員24名出席、村上克利議長、久保田宗次副議長のもと開催された。



はじめに開会の辞を大黒英貴副会長よりいただき、続いて議事録署名人に宮古支部松橋精二郎評議員、奥州支部佐々木秀評議員が指名された。次に物故会員への黙祷が行われた。会長挨拶では佐藤保会長から今の自民党政治に対して不信感がある現状と、その対応については今後予定されている県連総会および支部総会にて協議の上しかるべき対応を決めていくこと、また6月実施の診療報酬改定を前にこの内容をよく確認し、疑問点やそぐわない点等の意見を連盟から中央にあげていくことが説明された。

令和5年度会務現状報告では、連盟会員数の確

認(新入会12名、退会11名)、第20回統一地方選挙報告(県知事選達増拓也氏当選、市長選内館茂氏当選、県議選9支部推薦候補者21名中当選20名、自主投票)、各種懇談会報告(物価高騰対策支援の拡充、災害時等支援対応の岩手JDAT設立、新型コロナ対応公的支援等確保、障がい者歯科医療体制構築・環境整備、学校でのフッ化物応用の普及を要望)、デンタルミーティングin岩手2023報告(令和5年12月17日(日)開催、日本歯科医師連盟早坂暢洋理事より連盟活動報告、山田宏参議院議員より「国政報告」講演、比嘉奈津美参議院議員より「歯科界の未来のために」講演)、シティデンタルミーティング開催説明(2区:令和6年3月10日(日)開催、3区:令和6年3月31日(日)開催予定)、岩歯連盟第39号発行報告、連盟各種会議報告が示された。

令和5年度会計収支現状報告の後、日本歯科医師連盟報告として令和6年2月9日(金)開催第6回政治セミナーの内容説明と令和6年2月22日(木)開催都道府県歯科医師連盟会長会議の内容が説明された。

その他報告として、藤原崇自由民主党岩手県支部連合会会長から派閥による政治資金規正法違反事案に対するお詫びおよび広瀬めぐみ参議院議員の件に対する県連の対応について報告文が示された。

承認事項として、令和5年ひがなつみ岩手後援会および山田宏岩手後援会における収支決算について報告され、賛成多数で承認された。

議事として、第1号議案令和6年度連盟会費並びに徴収に関する件、第2号議案令和6年度連盟事業計画の承認を求むる件、第3号議案令和6年度連盟会計収支予算の承認を求むる件は全て賛成多数で承

認された。

協議事項として、評議会事前質問で提出された連盟としての自民党支持体制の在り方を問う件については、佐藤会長より連盟として現政権に要望を訴えていく役割を続けなければならないが、今起きている時事は看過できないものであるため、今後の自民党の姿勢を注視しなければと考えていると回答された。

最後に閉会の辞を倉田英生副会長よりいただき日程を終了した。



## 第77回自由民主党 岩手県支部連合会定期大会 副理事長 佐藤 紀世彦

令和6年3月31日13時よりホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて自民党岩手県連の定期大会が開かれ、当連盟からは来賓として大黒英貴副会長が、その他連盟役員若干名も出席した。派閥の政治資金問題などを巡り、会長の藤原崇衆議院議員から陳謝があり、「ご支援をいただいている皆様にも大変ご負担をかけている状況にあります。」「私の方からあらためてお詫びを申し上げたいと思います。誠に申し訳ございませんでした。」と述べた。大会には、党員およそ360人が出席し、政治資金の

透明性を確保するため使い道を公表する義務のない県連の「組織対策費」を廃止することや信頼回復に向けて市町村の支部ごとに対話集会を行なっていくことなどを明らかにした。このほか、定期大会では、人口減少対策を中心に据えた重点政策の推進や次の国政選挙に向けての活動強化を盛り込んだ来年度の運動方針案などを承認した。



## 参議院議員 山田宏先生を お呼びして(日本歯科医師会連盟顧問) シティデンタルミーティング (衆議院3区選挙区)が行われました 花巻支部 小早川 隆文

主催者側として日本歯科医師連盟副会長 大越壽和先生、開催地側として県歯科医師連盟会長 佐藤保先生、司会進行は県歯科医師連盟理事長 松舘邦彦先生にて、花巻支部(5名)、北上支部(5名)、奥州支部(5名)、一関支部(5名)の先生方を対象に奥州市「プラザイン水沢」で行われました。(2024.3.31)



まず大越先生から若き学生時代「全歯体サッカー部門」で岩手を訪れた話から始まり、連盟活動と選挙活動の違いとその重要性、注意事項の説明を頂きました。また、来年の参議院選挙で、職域代表とし

て比嘉奈津美先生が決まり、3月の日本歯科医師連盟評議員会でご挨拶されたとのことでした。

次に山田先生からは、季節柄診療報酬改定決定までの苦勞された裏話をお話いただき、予算と政策の方向性に歯科の問題点や要望を入れてもらう「骨太の方針」を作成後、厚労省（医療側）診療報酬2～3%アップ要望と財務省のマイナス改定との食い違いを埋める作業が必要になり、いつもは話合いで決着していたが、今回は岸田首相の一声で決まったとのことでした。診療する側と政治家との繋がりが常に大切であるとのことでした。国会内では、歯科の職域代表の議員以外に、各地区からの選出された議員や政党を超えた議員に問題や要望を理解協力していただく関係構築が必要であるとのことでした。また、「生涯を通じた歯科検診」（いわゆる国民皆歯科検診）については、どのような方法で行うかを5年間程かけて検討していくとのことでした。その理由として、既存の歯周疾患検診の受診率が約5%（花巻市は昨年度16.8%）にとどまっていることも考えられ、歯科界の努力も必要と思われました。

ディスカッションのテーマ1として、奥州支部長千葉雅之先生から「病院歯科について」が行われました。奥州市の市立病院内に歯科を新設することについて12月盛岡で行われたデンタルミーティングに

おいて山田先生からの助言を受けたきっかけに、足利赤十字病院歯科を奥州市職員2名と千葉先生とで訪問されたとのことでした。即座に行動することに敬服いたします。



ディスカッションのテーマ2として、連盟会長佐藤先生から「母子歯科保健の推進について」が行われました。県立中部病院産婦人科の発表で妊娠中の歯科衛生士指導が早産の発症を減少させる可能性が示唆されたこと。また低フォスファターゼ症について説明されました。

最後に、松館理事長より、連盟活動についての情報と関心を持っていただくためにも、連盟ホームページへの登録のお願いがあり、閉会となりました。

## 編集後記

3月31日は第77回自由民主党岩手県支部連合会定期大会と岩手3区シティデンタルミーティングが同日に行なわれた。今後もシティデンタルミーティングが支部ごとに行われると思われ、支部からのきめ細かい意見、要望を中央政権へ届ける機会が今後増えてくることが期待される。また歯科問題議員懇談会もコロナ禍を経て3年ぶりに開催され喫緊の歯科を取り巻く課題が県議会議員へ届けることができた。組織票を持つ岩手県歯科医師

連盟は本会と連携して様々な歯科問題を解決へ導けるよう組織代表である国会議員や県議会議員と良好な関係が築けるよう努力しなければならないと感じる年度末であった。

会員の皆様におかれましては今後ご意見、要望をスムーズに届けるべく連盟活動への支援をお願いしたい。

(佐藤 紀世彦 記)